

# BOOK TRAIN

ブックトレイン

千代田図書館  
学校支援担当発行  
夏の図書だより  
2016  
中学生版

中学生の皆さんにおすすめの本を紹介します。



のマークは気軽に読める本、



のマークは読みごたえのある本です。



## 『月にハミング』



マイケル・モーパーゴ/作 杉田七重/訳 小学館

### 1915年5月、彼女は運命の船に乗った

第一次世界大戦中、アメリカからイギリスに向かう豪華客船ルシタニア号に、少女メリーと母親の姿があった。戦時下にあっても、民間の船は安全なはずだった…ある警告が出るまでは。一方、シリー諸島に住む少年アルフィは無人島で少女を助ける。彼女は一言「ルーシー」と言ったきり、後は何も話さない。彼女は誰で、どこから来たのか。そしてメリー母子の運命は…？ 史実に基づいた悲しくも心打つ物語。



## 『あまねく神竜住まう国』



おざわらのりこ 荻原規子/作 徳間書店

### 読む人に勇気を与えてくれる歴史ファンタジー

14歳で元服したばかりの頼朝は、平治の乱の敗戦により伊豆の地に流刑された。人に疎まれ、刺客に狙われ、苦悩し生きることを諦めかけていたその時、かつて出会った不思議な青年・清十郎と妻の糸世に再会する。不思議な縁に導かれ、土地神である地底の竜との出会いを経て、頼朝は次第に本来の自分を取り戻していく。そして驚くほどの成長を遂げ、自身のかつて思い描いていた望みを果たそうと…。



## 『お静かに、父が昼寝しております ユダヤの民話』



もたいなつう 母袋夏生/編訳 岩波書店

### 世界各地で息づくユダヤの多様な香り、集めました

ローマ帝国の時代に国を滅ぼされて以来、約2000年ものあいだ、世界各地に離散して暮らしてきたユダヤ人。各地で信仰と伝統を守りながら、知恵やユーモアに富んだ民話を語り継いできた。とんちのきいた表題作や、旧約聖書の「創世記」を含む38の短編を収録。たくましくしなやかに生きていく普遍的な人々の息遣いが、民族を越え、時代を越えていきいきと伝わってくる。





## 『あめ つち ほうていしき天と地の方程式 1』

とみやすようこ 富安陽子 / 著 いがらしだいすけ え 五十嵐大介 / 画 こうだんしゃ 講談社



巻き込まれたのは、いにしえより続く天ツ神と黄泉ツ神の戦い!?

中2アレイはおかしな夢を見た。猿に「くるすの丘に、来い」と言われる夢だ。その直後に転校した先は「采栖の丘学園」。アレイはそこで、自分は天ツ神が宿る7人のカナナギのひとりであることを知る。クラスメイトで数の理ことわりを知る天才Qとしゃべる猿、残りの4人のカナナギは誰だ…? 日本最古の歴史書、古事記をベースにした学園異能ファンタジー第1巻。



## 『ひんやり氷の本 氷から見つけた「食べる」「使う」「知る」のための5つの物語』

まえののりかず かんしゅう 前野紀一 / 監修 いけだ 池田書店



世界で一番はかない化石? それは「氷」です

氷研究の第一人者が届ける「氷本」。暑い夏にぐっと身近な存在になる氷を「食べる・使う・知る・作る」など、様々な観点かんてんから紹介。ふんわりかき氷のひみつ、透明な氷の作り方なども載っている。おいしそうな写真も魅力的だが、自然の中で生まれる氷や、宇宙の天体で見つかった氷の話も興味深い。暑い日に氷に思いを馳せて、ひんやりした心地良さをどうぞ。



## 『おとなになるってどんなこと?』

ちく ましほろう 吉本ばなな / 著 あきもと 筑摩書房



この世に生まれてきた目的、教えます

「勉強はしなくちゃダメ?」、「友だちって何?」、「普通ってどういうこと?」。きっと誰もが一度はぶつかる悩み。そんな悩みに、上っ面うわづらでない真摯な言葉で著者が答える。気持ちがぶれてしまったとき、自分で自分が信じられないほど落ち込んでしまったときにどうぞ。いつの間にか、自分の内面が調律ちやうりつできる、もとの軸に戻れる、そんなお守りのような一冊。



## 『こつとう かいだん骨董・怪談』

こいずみ やくも 小泉八雲 / 著 ひらかわすけひろ 平川祐弘 / 訳 かわでしよほうしんしゃ 河出書房新社



これは「本物」です。暑い夏にスーッとしたい方へ…

日本の文化を愛し、世界に日本を紹介した明治の作家・小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）。ギリシャ生まれでアイルランド育ちの小泉八雲が、日本各地の伝説や民話を集め再話した代表作『骨董』と『怪談』を、八雲研究の第一人者が完訳。原書につけられた註もすべて訳されており、味わい深く読みごたえのある贅沢ぜいたくな1冊。「耳なし芳一」や「雪女」も収録。

